

第93回 日本感染症学会総会・学術講演会 NBRPパネル展示

日時：2019年4月4日（木） - 6日（土）

会場：名古屋国際会議場 1号館2F センチュリーホールホワイトエ

参加リソース・課題：4課題

病原細菌、病原真核微生物、原核生物（大腸菌・枯草菌）、寄託・利用窓口（広報室）

○狙い

岐阜大学の病原細菌課題代表者・田中香お里先生よりご提案をいただき、NBRP広報室として広報が未開拓である医学系分野への足掛かりとして広報上重要と考え、参加することとした。

○結果

- ・大会参加数：2609名
- ・ブース来訪者数：約135名/4ブース・3日間
- ・ポスター会場と別の建物であったため、来訪者は少なめ（前年度参加の企業展示の担当者に聞くと、やはり今年度は少ないとのこと）だった。
- ・今回、大会長の三嶋先生（愛知医科大学）のご好意（岐阜大学田中香お里先生からの働きかけで）により4ブースの展示ができた。
- ・初めての学会であったが、まだまだNBRP活動の認知度が低いと感じる結果となった。これから利活用の拡大が期待できる研究分野と感じる。特に薬物耐性菌やグローバル化による外来細菌への対応など、研究分野としても拡大が期待できるため、最新の臨床株が手に入りうるNBRPは非常に強みとなると考えられる。また、民間企業の参入も大きな分野と感じた。NBRPの対象は学術中心であるが、企業利用からの学術利用への循環も少なからず期待してよいのでは、と考える。

